

部活動が与える社会性獲得への影響に関する研究
白井 克成 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 佐藤 馨

キーワード：部活動,社会性,高校生

1. 諸言

運動部活動には運動能力レベルの向上以外にも大切な役割を担っている。部活動への参加は生徒の精神状態の安定,さらには将来的に良好な社会性を獲得していく能力の開発・開拓に大きな影響力を有していると言われている(山本,2011)。例えば,1人の人間として社会に出ていくための「社会性」を身につけることもできるのである。ここで言う「社会性」とは「個人を取り巻く社会(環境)において,自己を発揮し,実現していくための能力」と捉えている(山本,2011)。

そこで,本研究では「社会性」の獲得という点に着目し,「部活動」がどのような役割を果たしているのかということをも山本(2011)の研究を参考に調査を実施した。さらに調査結果を分析することで,現在の高校生の「社会性」を確認し,部活動をしている人としていない人の差を明らかにし,部活動が与える影響力,また学生生活の中で部活動に変わるものがあるのかについて検討することを目的とした。

2. 研究方法

調査対象は大阪府立渋谷高等学校の三年生93名である(男42名,女48名,不明3名)。調査時期は2014年7月8日から7月14日までの期間で行った。調査方法は教員の協力を得てアンケートを配布し,回収した。この調査は被調査者について「目標遂行」「意思表示」「対人関係」「学校行事に対する意欲」の4要因30項目で構成されている。分析方法はSPSSによるT検定とクロス集計を用いた。

3. 結果と考察

山本(2011)の研究では,調査対象の三年生

を社会性因子別に見ていくと,部活動所属者が全てにおいて最高得点であったが,本研究では部活動所属者と部活動非所属者に有意差は見られなかった。また,山本(2011)の研究では,学校行事への参加意欲においても部活動所属者の方が部活動非所属者よりも大いに意欲的であるということだったが,本研究では部活動所属者,部活動非所属者に有意差は見られなかった。このことから,山本(2011)の研究とは違い,部活動だけが社会性獲得の役割の大半を担っているわけではないと考える。そして,部活動以外にも社会性獲得に大きな役割があると推察する。本研究で部活動所属者,部活動非所属者にほとんどの項目において有意差がなかった理由として,体育祭,文化祭などの学校行事が充実していることがひとつの理由と考える。

4. まとめ

部活動は社会性を獲得するという役割を果たしているといえるが,体育祭などの学校行事では部活動所属者ではなく,部活動非所属者が団長・副団長になり中心として行われていることが多い。その結果,後輩への指導やまとめていく難しさ,伝えることの難しさなどを学ぶことができ,当日に向けて頑張り,達成することで部活動に似たような感覚を味わうことができたと考える。つまり,学校行事が充実していることで部活動に似た役割を果たすと考え,社会性獲得に良い影響を与えていると推察する。

引用文献

山本浩二。(2011)。「社会性獲得にみる学校部活動の教育的有効性に関する考察」.Journal of JACT.Vol.16.No3.153-158.